



平成 21 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 アサガミ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 木村 健一  
 (コード：9311 東証第 2 部)  
 問合せ先 執行役員経理部長 北川 敏行  
 (TEL. 03-4288-3000)

特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ平成 21 年 10 月 1 日に公表した平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)の連結・個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、平成 22 年 3 月期第 3 四半期において特別利益を計上することになりましたので平成 21 年 5 月 15 日に公表した平成 22 年 3 月期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)の通期の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上

当社の不動産事業における賃貸物件においてテナントによる中途解約にともなう違約金収入 494 百万円を特別利益として計上することといたしました。

2. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(1)連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	20,648	461	203	△200	△14.17
今 回 発 表 予 想 ( B )	20,525	445	199	△189	△13.35
増 減 額 ( B - A )	△123	△16	△3	11	
増 減 率 ( % )	△0.6	△3.5	△1.8	△5.8	
(参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	52,289	2,464	1,857	95	6.78

(2)個別業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	12,999	531	403	76	5.41
今 回 発 表 予 想 ( B )	13,144	549	434	106	7.50
増 減 額 ( B - A )	144	18	31	29	
増 減 率 ( % )	1.1	3.5	7.8	38.5	
(参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	16,810	1,092	831	404	28.56

### 3. 平成 22 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

#### (1) 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	45,574	1,942	1,344	476	33.65
今回発表予想（B）	45,357	1,851	1,322	631	44.62
増減額（B－A）	△217	△91	△22	155	
増減率（％）	△0.5	△4.7	△1.6	32.6	
（参考）前期実績 （平成 21 年 3 月期）	52,289	2,464	1,857	95	6.78

#### (2) 個別業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	25,804	949	420	111	7.87
今回発表予想（B）	25,497	863	485	371	26.26
増減額（B－A）	△307	△86	65	260	
増減率（％）	△1.2	△9.1	15.5	233.8	
（参考）前期実績 （平成 21 年 3 月期）	32,113	1,803	1,251	140	8.00

### 4. 修正の理由

#### (1) 第 2 四半期累計期間

売上高および営業利益につきましては、前年度末までに受注した完成工事売上や当事業年度より適用した工事進行基準に係る売上高が前回予想時に比べ出来高の進捗が進んだことにより予想を上回る見込となりました。また、経常利益および当期純利益につきましては、営業外損益の改善を加え増額修正するものであります。

連結業績予想につきましては個別業績を加え、印刷事業において婚礼印刷の受注が前回予想をさらに下回る見込となり売上高、営業利益および経常利益を減額修正するものであります。

#### (2) 通期

通期業績予想につきましては、輸出、生産ともに持ち直しの動きが見られましたが、本格的な回復には至らず、個人消費の冷え込みも加わり物流量が全般的に減少し、依然として厳しい状況が続くと思われれます。このような環境のなか第 2 四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、売上高、営業利益および経常利益を減額修正し、前述「1. 特別利益の計上」に記載しましたとおり、平成 22 年 3 月期第 3 四半期において違約金収入 494 百万円を特別利益に計上することにより、当期純利益を修正するものであります。

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上